

私たちの町議会

議会だより

2023. 2.10

No. 246

Memuro Town Assembly information



議会だよりの表紙は、無限の可能性をイメージし子どもを掲載しています。

総務経済常任委員会

第16回 1月20日(金)

調査内容

●中心市街地住宅借上げ制度
事業者募集状況について
今年度の事業者募集は、建設費高騰による不採算などの理由により、応募が0件であるとの説明があり、質疑には「既存の民間住宅への資金補助など新たな発想で、目的を達成することも視野に入れる」等の答弁がありました。

●空家等対策計画策定事業について
実態調査では114戸の空家が確認され、今後は空家所有者に対する意向調査を実施し、その結果を基に改めて計画の策定を進めるとの答弁がありました。

●公共施設維持管理マネジメント委託について
令和5年から、都市経営課所管の地域集会施設と公営住宅について、修繕通報窓口や日常点検業務等を試行的に民間委託するとの答弁がありました。

厚生文教常任委員会

第17回 1月19日(木)

第18回 1月27日(金)

調査内容

●学生カイコチャレンジ奨励金事業について
令和4年度から始まった新規事業の進捗状況を調査しました。

この事業は、学生が町内の介護事業所でアルバイトした場合に、アルバイト代に上乗せする形で奨励金を交付するものです(150時間以下は1時間当たり100円、150時間超は1時間当たり200円)。

町内の介護事業所に受入れ募集を行ったところ、6事業所から応募があり、2事業所に3名の学生が採用されています。質疑では、「より効果的になるよう単価設定の検討が必要では」、「町単独では限界がある。複数自治体での連携、十勝全体のネットワークなどの取組みも必要」などの意見がありました。

●副委員長を互選(1月27日)
厚生文教常任委員会の副委員長に橋本和仁委員が就任しました。

議会運営委員会

第21回 1月20日(金)

議長から議会運営委員会に対し、「多様な議員のなり手」について諮問があり、全議員でワークショップを行い検討を重ねてきました。法や選挙制度の改正などに関わることはなく、本町議会として取り組める対応策について活発な議論が行われました。

その結果、「①議会広報の充実」、「②議員の資質向上」、「③議会活動の進化」、「④主権者教育の推進」、「⑤多様な住民参加の創出」を議会の対応策としてまとめ、議長に答申しました。



答申内容はこちらから御覧ください。↓



議会改革諮問会議

「多様な議員のなり手について」議会改革諮問会議が議長に答申
1月23日、議会改革諮問会議(高野会長他4名)は、早苗議長から諮問された2つ目の諮問事項「多様な議員のなり手について」の答申書を提出しました。

議長からは、「議会や議員の行動や考え方を再考すべきとの貴重なご提言に対し、議会として真摯に取り組みたい」とあいさつがありました。

諮問委員の方々には、約2年間、9回にわたりご協議いただき、ありがとうございました。



後列左から平岡委員、江崎副会長、千葉委員、林委員
前列左から高野会長、早苗議長



1月臨時会議
原案どおり
可決

1月27日に開催した臨時会議では、黒田栄継議員から提出された議員辞職願が審議され、全会一致で許可することに決定しました。

●行政報告

公立芽室病院の総合診療科医師1名が3月1日付けで退職するとの報告があり、引き続き医師の確保と、医療の質の向上、経営安定化を進める考えが示されました。

1月補正予算
一般会計総額は
1億4,400万円

出産子育ての経済的負担軽減のため実施する「出産・子育て応援交付金」など、町長から提案された各会計補正予算は、「原案のとおり可決すべきもの」と決定し、その後の本会議で可決されました。

項目	補正額	主な事業
総務費	46,122千円	ふるさと納税特典贈呈事業
衛生費	15,508千円	出産・子育て応援交付金
予備費	△7,738千円	
一般会計	53,892千円	

項目	補正額	主な事業
病院事業	4,686千円	トイレ改修工事

審議した議案と各議員の賛否

種別	議案名	議員名													審議結果	議決日		
		黒田栄継	中田智恵子	橋本和仁	堀切幸治	渡辺洋一	柳川美穂	立川和宏	中村健一	寺平一	鈴木健充	正村紀美子	柴田正博	西尾直人			常川直人	早苗豊
議員辞職の件		欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	許可	1/27
行政報告	行政報告																議長 原案可決	
議案	令和4年度芽室町一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案	令和4年度芽室町公立芽室病院事業会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

議会白書 令和5年1月 延べ12時間16分活動しました！

会議名	日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
						平均
本会議	1月27日 9:30~10:16	0:36	0:10	1. 令和4年度芽室町一般会計補正予算(第12号) 2. 令和4年度芽室町公立芽室病院事業会計補正予算(第6号)	1	(61)
常任委員会	総務経済 第16回 1月20日 13:30~16:00	0:47	1:43	1. 中心市街地住宅借上げ制度事業者募集状況について 2. 空家等対策計画策定事業について 他	0	(14)
	厚生文教 第17回 1月19日 9:30~11:15	0:01	0:27	1. 学生カイコチャレンジ奨励金事業の進捗状況について 2. 新型コロナウイルスワクチン接種状況等について 他	1	24
	第18回 1月27日 9:35~9:37	0:00	0:02	1. 副委員長の選出について	0	0
議会運営委員会	第21回 1月20日 9:30~9:58	0:01	0:27	1. 令和4年芽室町議会定例会1月臨時会議の運営について 2. 議会だより2月号について 他	0	(14)
予算決算特別委員会	第12回 1月27日 9:53~10:12	0:00	0:19	1. 令和4年度芽室町各会計補正予算の審査について	1	(61)
全員協議会	第11回 1月27日 10:50~12:03	0:25	0:48	1. 芽室高校との意見交換会の総括案について資料 2. 議会報告と町民との意見交換会実施結果について 他	1	(61)
議会広報編集企画会議	第8回 1月27日 12:10~12:30	0:00	0:20	1. 議会だより2月号の校正について 2. 議会だより3月号の編集企画について		
小計		6:06	1:50	4:16	計4	平均33.6
白樺学園高校と芽室町議会包括連携協定事業	1月24日 10:00~15:00	0:00	5:00	1学年「議会体験」事前学習		※
白樺学園高校と芽室町議会包括連携協定事業	1月30日、31日 9:30~11:00	0:00	3:00	1学年「議会体験」		※
小計		8:00	0:00	8:00		
合計		14:06	1:50	12:16	計4	平均33.6

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※インターネット中継を実施しなかった会議

町政を問う
8人が登壇
一般質問

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考えなどを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。



手島旭 町長



程野仁 教育長

- ① 町内高等学校の存在意義をどのように捉えているか。
- ② 今後、町内高等学校と地方創生に結び付くような関係性を築き、取組の検討を行う展望はあるか。



黒田栄継 議員

「芽室町における高等学校との連携」

- ① 教育機関が身近に2校ある恵まれた環境にあること、歴史、伝統、文化等に大きな影響を与えてきた重要な教育機関であること、次世代の担い手として活躍が期待されることから、両校の存在は重要だと捉えています。
- ② 地学協働の取組を通し、具体的に両校の課題やまちづくりへの参画の可能性などを議論し、互いの役割と協力体制の構築について検討していきます。



手島 町長

一般質問を終えて
黒田 栄継

二つの高等学校を有するということは、芽室町における大きな特徴の一つであり、今後町の大きな強みに転換できる可能性があります。

町内の子どもたちの選択の幅を広げることも、将来を担う世代の、積極的な町づくりへの参加も期待されます。

今回の質問で、これらの価値を共有できたことは、大変意義のあったことであり、今後の取組につながることを期待します。

全国的な少子高齢化の流れの中、地方の高校の存在価値を、関わる全ての人々が力を合わせることで、最大限発揮できるように、今後も様々な議論を重ねていきたいと思っています。

- ① 公園内に飲食店や売店等を設置し、収益を公園整備に充てることができる「park-PFI（民間事業者公募）」制度を芽室公園で活用する考えはあるか。
- ② プール等周辺施設との関連性の工夫による、まちなかの活性化への見解を伺う。



鈴木健充 議員

「芽室公園の活用方法」

- ① 制度の活用には、採算が取れる公園となることが課題であるため、公園再整備構想の策定に合わせ、検討する考えです。
- ② 芽室公園を恒久・継続的に賑わう魅力ある公園として再整備するためには、町全体の導線づくり等の視点が重要です。社会体育施設等の周辺施設整備はもちろんのこと、町民の方からいただいた意見等も参考に、検討する考えです。



手島 町長

一般質問を終えて
鈴木 健充

芽室公園は、多くの町民にとって自慢できる場所であり、子どもからお年寄りまで貴重な憩いの場として認識され、利用されています。一年中、規模の大小を問わず様々なイベント会場として活用されています。

また、町民が選定した次世代に残したい芽室の宝物として「芽室公園の柏の木」と「花菖蒲園」が芽室遺産に登録され、観光スポットの一つとして町内外の方々が訪れています。

今回の一般質問では、将来の芽室公園が「中心市街地の活性化」「地域内経済循環」「まちなか再生」「子育て支援」「地域コミュニティ推進」「人口減少対策」「観光の振興」などの課題解決策のイニシアティブを握り、町の発展を左右するほど大きく関わってくるの想いから、町長の考えを聞き溢れる公園となるよう期待します。

- ① 新たな「まちなか」の範囲についての考え方は？
- ② 「住む」という視点の検討委員会における議論は？
- ③ 「中心市街地住宅借上げ制度」を今後も継続する考えはあるか？



橋本和仁 議員

「まちなか再生に関する住まいの在り方」

- ① まちなか再生ビジョン策定に向け、検討委員会の開催やアンケート調査等を実施しており、現在町の各種計画との整合性を図りながら、整理・分析を行っています。その結果を踏まえ、今後「まちなかの範囲」の考え方をビジョンの素案に盛り込み公表する考えです。
- ② 議論や意見は多くありませんでしたが、今後ビジョンの中で「住む」という視点を盛り込むか検討します。
- ③ 公営住宅入居者が利便性の高いまちなかに住むことで、まちなかの人口密度が高まり、社会経済活動の活性化による様々な効果が期待されることから、今後も継続する考えです。



手島 町長

一般質問を終えて
橋本 和仁

今回の質問では、まちなか再生について町の姿勢、取組等を確認しました。

庁内3課からなるプロジェクトチームを設置し、町民によるまちなか再生ビジョン検討委員会を開催、町の各種計画等との整合性を図りながら現在整理・分析が行われています。

本町は、生活利便性の高い中心市街地での高齢者住宅対策や、中心市街地活性化及び空洞化防止対策を目的とし、住宅施策の推進の一環として令和5年から8年度までの4年間で新たに90戸のまちなか新団地を借上げ、公営住宅として整備する予定となっています。

昨今、コロナ禍や世界情勢により、物価高騰など先行き不安な情勢が続いています。限りある資源、予算の中、今後の町の動向を注視していきたいと思えます。

- ① これまでの対応と今後の展望は？
- ② 物流拠点構想をどのように実現していくのか？



正村紀美子 議員

「新工業団体造成と物流ハブ機能の実現を」

- ① 基礎的な調査を実施し、関係機関と協議を重ねながら、課題解決にむけた手法を研究しています。
- ② 今後も本町ならびに十勝全体の農畜産物に貢献するため、企業誘致を進めていきます。



手島 町長

一般質問を終えて
正村 紀美子

東工業団地は、物流の中継地点として道内外へアクセスが良好であることから、物流関連を中心とした企業から土地取得について多くの問い合わせがありますが、現在、すべての土地販売を終了しており、企業ニーズに応えられない状況が続いています。

課題となっている土地の規制について「関係機関と協議を継続している」、今後「公表できる時期がきたら報告する」と町長の答弁がありました。

工業団地は、農業、商工業を支えるだけでなく、雇用を創出し、定住人口を増加させ地域活性化、町税収入も見込める、重要な政策です。町の未来を切り拓くには、大きな課題を乗り越える必要があります。町長の政治力とリーダーシップが問われています。

ハザードマップ等の理解促進や、住民自ら考え適切に行動できるようにするための施策の推進が重要だが、平時から避難行動を想定した準備に関する取組経過と、今後どのような取組をしていくかを伺う。



中田智恵子 議員

「防災対策」

平成29年度から3年間、浸水想定区域の町内会を対象に、参加者個人のマイ・タイムライン(※)に関する内容も含めた水害避難訓練を、令和2年度からは地震災害を想定し、迅速な避難とコロナ対応の避難運営に重点を置いた訓練を行ってきました。今後は、「洪水時」を想定した防災教室を実施する予定です。

また、マイ・タイムラインを含めた訓練等の実施や、安全確保のための「避難情報に関するガイドライン」を理解いただく取組など、住民の意識の転換と自助をサポートしていく考えです。(※)いざというときにあわてることがないように、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくもの



手島 町長

豪雨災害などからの避難対策として、ハザードマップの整備やマイタイムラインの取組を推進していくことは重要であるとの思いで質問しました。マイタイムラインは家庭版事前防災行動計画と言えるもので、避難するタイミングは住んでいる場所、家族構成によって家庭ごとに違うため、災害を自分のこととして捉える「我が事意識」を育み、避難意識を高める効果も期待できます。その成果は家族の逃げ遅れを防ぎ、災害に強い町、人づくりにもつながると考えます。作成して頂けることになりましたハザードマップを活用して、自宅の災害リスクと避難経路などを確認し、非常時にどう行動するか、日頃から考える機会になればと思います。

一般質問を終えて 中田 智恵子

- ① 発達支援システム策定から13年経過した現在、町が目指す「すべての子どもが自立し、ともに安心して暮らせる地域社会」の取組評価と課題は？
② 発達障がいの方や保護者が安心して暮らせる地域をつくるためには、障がい特性への理解促進が必要だが、地域理解を図る取組の評価と今後の展望は？

「発達障がいへの理解を深め誰もが安心して暮らし続けるまちづくり」



立川美穂 議員

- ① 発達障害の早期発見と関係機関の連携により、乳幼児期から就労期まで一貫性と継続性のある支援体制が構築されました。また14名が一般就労を果たしたことは大きな成果と考えます。課題は、中学卒業以降の追跡、途中関わりとなる転入世帯への支援、就労における人材マッチング強化等と捉えています。
② 広報誌への情報掲載、イベントの助成支援や共催等を行っておりますが、様々な障がいへの理解促進に向け、積極的な取組や支援が必要と考えます。また、保育所等では障がいのある子どもも分け隔てなく一緒に過ごしています。障がい特性の理解を深めながら成長することで、将来大人の立場で地域社会における理解者となることを願っています。



手島 町長

「すべての子どもが自立し、ともに安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し芽室町では14年前から「発達支援システム」を運用しています。障がいの特性ゆえ、社会生活を送る上での困難を抱えるお子さんの子育てには周囲の理解が必要ですが、子どもたちの生活の場は理解のある所属機関ばかりではありません。周囲の理解不足から時に心無い言葉を投げかけられるなど保護者の方々にはさまざまな困難と向き合っています。また発達障がいを持つ方の離職率が非常に高い状況にあることも課題です。他自治体に先駆け取り組んできた芽室町だからこそ、いま一度地域住民の理解促進を図る取組が必要であると考え、質問のテーマに取り上げました。

一般質問を終えて 立川 美穂

- ① 地域包括ケアシステムの推進における現状及び課題は？
② 高齢者施設利用者の安心、安定した環境整備の現状及び課題は？
③ 本町における老老介護の実態及び課題は？



中村和宏 議員

「支援を要する高齢者を一人も見逃さない取組の推進」

- ① 複合的な課題への対応が必要な支援困難事例も増加傾向にあります。適切に対応できる体制づくりやサービス提供が求められています。
② 介護人材確保が非常に厳しいと伺っています。人材育成の支援を図ってまいります。
③ ケアマネジャーの訪問など支援に努めています。介護者の配慮等、さらなる対応が必要と捉えています。



手島 町長

住み慣れた地域で安心して暮らしたい。誰もがそう願っているのではないのでしょうか。支援を要する高齢者を一人も見逃さないためにも、高齢者に寄り添った地域包括ケアシステムの機能整備が求められます。高齢者施設は利用者にとって生活の場です。快適な環境整備支援、生活の場に不可欠な人材育成のさらなる支援が必要と考えます。老老介護による悲しい事件が発生しています。様々な要因が考えられますが、二度とあつてはなりません。老老介護世帯を孤立させないために、行政そして地域の支えが何よりも大切であることを、今回の一般質問からあらためて考えさせられました。

一般質問を終えて 中村 和宏

- ① 憲法の原則に照らして、また、食育の推進、保護者の経済的負担軽減、少子化対策、移住・定住促進等の観点から、学校給食費を無償化すべき。
② 学校給食費の無償化、補助拡大を段階的または条件設定等により実施する考えは？

「学校給食費の無償化」



堀切 忠 議員

- ① 憲法の規定は、「授業料のほかに、教科書、学用品、その他教育に必要な一切の費用を無償としなければならない」ことを定めたものではないと認識しており、学校給食法に基づき、「食材費」のみを保護者に負担いただいています。また、食育の推進等の観点からは、まるごと給食で一食あたり200円、日々の給食では22円を町が負担し、一部無償化を実施しています。
② 現状の一部無償化の継続に努めます。条件設定等については、財源確保を前提に慎重に検討する考えです。



程野 教育長

日本は世界でも異常な「賃金が上がらない国」です。実質賃金は1997年から2021年にかけて、平均で年収61万円も減りました。この30年間に日本の平均賃金は4.4%しか伸びていませんが、同時期にアメリカやイギリスは50%近く伸びています。最近の物価高騰でますます子育て世代の負担は重くなっています。本町の給食費は1人年間、小学生で約4.6万円、中学生で約5.4万円、5.6万円です。特に第2子、第3子と子どもが多い世帯にとっては大きな負担となります。また、中学生になると教育に係る負担も増えてきます。完全無償化が望ましいですが、条件を設定した補助も必要と考えます。本来、国がやるべきことですが、本町としても、子育て世代への支援が必要と考えます。

一般質問を終えて 堀切 忠

議会モニター募集中

～『議会』に参加しませんか！～

議会モニターは、気軽に議会に参加することのできる「チャンネル」です。
皆さんの声や思いを、議会・議員とキャッチボールする「チャンネル」です。
多数の御応募をお待ちしています！

- ★資格要件 芽室町民であること。ただし、町外から芽室町内に在学・勤務している方も可。議会のしくみや町の行政などに関心がある方。
- ★任 期 令和5年4月1日～6年3月31日
- ★報 酬 会議に出席した際に3,300円を支給します。
(居住場所によっては、別途交通費相当を支給します。)
- ★主な役割
 - ・議会だより掲載の「モニターの声」への寄稿(200文字程度・年1回)
 - ・議会が依頼するアンケート等への回答(年数回)
 - ・モニター会議(モニターと議員との意見交換)への出席(年2回程度)
- ★応募期限 令和5年2月28日(火曜)
- ★応募方法 議会事務局に御連絡をお願いします。
(電話は月～金の9時～17時。正午から13時を除く。
メールは住所・氏名・電話番号・「モニター希望」と記載。)
TEL:0155-62-9731 FAX:0155-62-9813
e-mail: g-shomu@memuro.net



表紙写真
藤倉快吏(かいり)君は春から1年生。お姉ちゃんのスケート少年団の練習中にお父さんと特訓です。

3月定例会議の御案内

2日	9:30～	初日
15日	9:30～	一般質問
16日	9:30～	一般質問
23日	9:30～	最終日

議会傍聴で芽室の未来が見える！

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

インターネット中継はコチラから視聴できます。(過去の録画もあります)

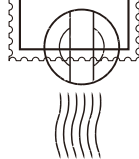


お知らせ

黒田栄継議員の議員辞職について

黒田栄継議員から、令和5年1月17日付けで議員を辞職したい旨の辞職願が提出され、令和5年1月27日の臨時会議において辞職の許可を決定しました。

後編記集



■コロナ禍により、モニター会議もオンライン開催が続いていましたが、昨年12月久しぶりに対面でお話しすることができました。実際にお互いの顔を見ながら会話できるこの大切さを実感しました。コロナ退散！

■議員の任期も残すところ3か月程となり、感染症に苦慮した任期終盤となりました。充分な議会活動とはいかないものの、最大限ICTを駆使し活動を継続してきました。町民の意向と町の施策・財政視点・情報公開等を議員間討議から議決する議会を一層進めて参ります。

■2月は今年度のまとめの時期。議会では事業の総括と次年度にむけた方針の検討をしています。受験生の皆さんは、もう一踏ん張りですね。それぞれの道に向かって、自分を信じて歩んでください。陰ながら応援しています！



LINE@

友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時更新中